

六郷の総鎮守



六郷神社崇敬会会報

60

令和元年5月発行

新元号『令和』によせて 宮司 鈴木武司

来たるべき皇位継承に向け、宮中をはじめ政府等でも着々と準備が進んでおります。

六郷神社崇敬会におかれましても、来る11月3日の崇敬会創立30年記念大祭に向け、準備が進んでいることと存じ上げます。

創立以来30年にわたり崇敬会の活動を通じて神社に対し多大なるご貢献を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

4月1日に公表されました新元号「令和」には「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたい」との願いを込めたと首相からの談話がありました。

これより始まります令和の御代が、より良き、希望に満ちたものでありますようお祈りするとともに、新しい時代の崇敬会の弥栄並びに会員の皆様の御健勝御多幸を御祈念申し上げます。

新たな元号『令和』

天皇陛下が御位につかれることを「踐祚せんそ」といえます。「剣璽等継承の儀」にて、神器が継承されたことにあわせ、新たな元号が発効されました。

祭礼は6月7日(金)・8日(土)・9日(日)

9日にはご祭礼が行われます。御代替みよがわりへの奉祝として、全町会を渡御します。宮出しは午前8時、宮入りは午後4時の予定です。

子供神獅子舞は神楽殿で演舞

長い歴史と伝統をもつ六郷神社の子供神獅子舞(大田区無形民俗文化財)。約一ヶ月の間、毎晩汗を流して練習に励んだ少年少女達が演舞を奉納し、その後巡行致します。

疫えき気を祓えきう茅の輪くぐり

神道では罪穢れや疫病をはらい、清々しい命のよみがえりを尊んでいます。6月30日の夏越の大祓えびすに設置される茅の輪をくぐり、健康と長寿を祈りましょう。

会員総会のご案内

6月22日(土)午後1時より、会員総会を社務所にて行います。

①平成30年度の会務および事業報告の件、②平成30年度収支決算書承認の件、③平成31年度事業計画および収支予算案承認の件などを議題として執り行います。



諏訪大社本宮での記念写真



本宮一之御柱

六郷神社崇敬会
平成31年度 収支予算(案)
(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

(1)収入の部(円)	
個人会費	960,000
法人会費	200,000
雑収入	140,000
前期繰越金	117,216
合計	1,417,216

(2)支出の部(円)	
協賛金	600,000
会報発行費 (第60,61号)	170,000
事務費	20,000
通信費	120,000
会議費	30,000
郵便振替払込料	25,000
消耗品費	1,000
渉外費	40,000
催事費	380,000
雑費	1,000
予備費	29,216
備品費	1,000
合計	1,417,216

平成31年度 収支予算(案)

六郷神社崇敬会 平成30年度 決算報告書
(平成30年4月1日より、平成31年3月31日まで)

(1)収入の部(円)		
個人会費	960,000	955,000
法人会費	240,000	200,000
雑収入	140,000	190,837
前期繰越金	100,451	100,451
合計	1,440,451	1,446,288

(2)支出の部(円)		
協賛金	600,000	576,115
会報発行費 (第58,59号)	170,000	150,000
事務費	30,000	24,922
通信費	120,000	114,795
会議費	30,000	28,350
郵便振替払込料	25,000	19,760
消耗品費	1,000	0
渉外費	50,000	35,000
催事費	400,000	367,270
雑費	1,000	0
予備費	12,451	0
備品費	1,000	2,860
次期繰越金		127,216
合計	1,440,451	1,446,288

(3)次期繰越金内訳(円)	
現金	52,142
郵便振替預金	68,211
城南信用金庫普通預金	6,863
合計	127,216

(4)30周年事業準備金(円)	
芝信用金庫普通預金	600,257
利息	4
合計	600,261

(5)定期預金(円)	
城南信用金庫定期預金①	700,555
利息	60
城南信用金庫定期預金②	1,000,280
利息	80
合計	1,700,975

平成31年4月17日
上記のとおり、報告いたします。

会長 増淵國昭 印

監査報告書

監査の結果、平成30年度決算報告書は、
正確であることを認めます。

平成31年4月17日、

監事 吉野鷹夫 印
監事 森 明久 印

平成30年度 決算報告書

◆平成31年度会費納入のお願い

年会費(平成31年4月1日より令和2年3月31日までの分)未納の方は、お手数でも同封の振替用紙でお納めください。社務所でも受け付けております。なお、すでにお納めの方は、失礼をご容赦ください。

◆お詫びと訂正

第59号の「七草流鏑馬」と「収支予算」の記載に誤りがございました。

正しくは、「狩衣姿に身を包んだ男児」ではなく、「小笠原流の流鏑馬装束に身を包んだ男児」でございます。直垂、あやい笠、むかばきをまとった装束となります。

また、「収支予算」は決算報告書の予算額に表記したものになります。
深くお詫びし、訂正を申し上げます。

◆有名神社バスの旅



諏訪大社 北島宮司にご案内いただきました。

諏訪神社がごさいます。

鈴木禰宜様、堀越権禰宜様にもご参加いただき、総勢38名での参拝になりました。

「諏訪大社の特徴」

諏訪湖周辺に位置し、御祭神は上社本宮は建御名方神（タケミナカタノカミ）、上社前宮と下社は八坂刀売神（ヤサカトメノカミ）です。古くは古事記（712年）にも記載されています。全国にある一万有余の諏訪神社の総本社です。

本殿と呼ばれる建物がなく、上社は御山を御神体、春宮は杉の木、秋宮は一位の木を御神木と拝しています。古代の神社には社殿がなかったと言われ、諏訪大社はその古くからの姿を残しています。また、諏訪明神は古くは風・

水の守護神で五穀豊穡を祈る神、また武勇の神として広く信仰され、現在では生命の根源・生活の源をも守る神として崇められています。

「御柱祭」

諏訪大社と言えば御柱祭が何といつても有名で、テレビのニュースでも必ず報道されています。正式名は「式年造営御柱大祭」といい、7年に一度の干支の寅と申の年に行われる祭事で、平安時代から続いています。八ヶ岳や霧ヶ峰から合わせて16本のモミの木を選んできて、各々の社殿の四隅に建てます。

「正式参拝に参加して」

鬱蒼とした森の中に静かに佇む諏訪大社は自然と一体化した気持ちにさせてくれるなんとも不

思議な空間でした。本殿のない正式参拝も初めてで、吹きさらしの中で震えながら参拝して、身も心も清められた気がしました。

午後を訪れた下社春宮と下社秋宮には温泉の手水が湧いていて、冷たい手にとっても気持ちよかったです。2～7月は春宮に、8～1月は秋宮に御霊代が移り、特に8月1日に行われる遷座祭（お舟祭）が有名です。

3社を巡るだけで時間的にはギリギリの行程でしたが、とても充実した参拝旅行となりました。御朱印帳の希望も増えて、今まさにブームなのかなと感じます。これを機に崇敬会のメンバーが増えますように願っております。

（野村和子記）

六郷神社崇敬会恒例の神社参拝バス旅行は、まだ寒さが身に染みる2月23日（土）早朝に六郷神社を出発し、長野県の諏訪大社（信濃国一之宮）に行つて参りました。国内にある最も古い神社の一つとされており、全国各地にある諏訪神社総本社ですので、ぜひ一度行きたいとの希望も多く実現致しました。六郷神社にも縁があり、兼務社に西六郷二丁目の

◆六郷囃子

六郷囃子保存会は、昭和34年3月に発足しました。当時は、六郷、羽田、川崎、大井、大森などで、達人たちの交流が盛んに行われていたそうです。

東六郷の故・布川徳次郎は鍛冶屋であつたことから、「かじ徳」と呼ばれ、川崎市市場萩原社中の神楽の名のもと、矢口、道塚、沼部、新丸子、等々力方面へ活躍した名手でありました。

祭囃子は、一一八九年鎌倉八幡宮で、原型となる音曲が奏でられ、一一九三年鶴ヶ岡八幡宮(相模の国雪ノ下)で、大名6騎なる人物により、囃子として誕生します。

その後、鎌倉から相模、そして多摩川を下り綱島、京浜方面に伝えられます。調布から、神田、浅草あたりは、「下町囃子」と呼ばれ、目黒、池上、羽田、川崎、六郷は、「山の手囃子」として育まれました。いにしえの流儀で奏でる囃子、今年も平和を念じ、祭礼、七五三、流鏝馬、節分などに奉納されます。

◆創立30周年記念行事

崇敬会創立30周年を記念し、慶祝行事を予定しております。ぜひ多くの方にご出席賜りたくご案内申し上げます。

- 一、期日 令和元年11月3日(日)
- 一、神前報告祭り 午前9時
- 一、献木式添釜 午前9時30分
- 一、祝賀会 午前11時30分

詳細は後日ご連絡致します。

◆会報をA4サイズに

崇敬会の大きな節目として、次号の会報より、サイズをA4サイズに変更し、内容も充実させていきます。

◆ついたち早朝まいり

毎月ついたち朝7時に、神前にて会員みなさまの家内安全を祈願する昇殿参拝と、会員有志による講話を行っております。

是非、足をお運びください。

◆崇敬会入会のおすすめ

神社の興隆を通し、地域文化を向上する目的を持った会です。グローバル化が進みますます価値が高まっています。是非、お知り合いの方に入会をおすすめください。

◆新入会員紹介 会員番号順

- 個人 仲六郷二・星 野 志津江
- 仲六郷三・真行寺 公子
- 南六郷三・仲村 兼一
- 蒲田本町一・山本 真由美
- 南六郷三・齋藤 一男
- 東六郷三・中溝 寿

発行 六郷神社崇敬会

〒一四四・〇〇四六

大田区東六郷三・十一・十八

六郷神社社務所内

電話〇三・三七三一・二八八九

振替〇〇一九〇・六一・二三五五三

監修 平野卓治

編集 吉田恒男、飛田弓子、

野村和子、石渡義仁、

長谷川靖